

令和7年度（2025年度）

実績報告書

Ⅰ. 申請者の概要

団体名	東大阪商工会議所
代表者職・氏名	会頭 濱谷 和也
所在地	〒577-0809 東大阪市永和2-1-1
設立年月日	昭和12年12月28日
職員数	34
うち経営指導員数	24
所管地域	東大阪市
管内事業所数	24,408（令和3年経済センサス活動調査による）
うち小規模事業者数	16,876（令和3年経済センサス活動調査による）
会員数	6198（令和8年3月31日現在）
組織率	25.4%
担当者職・氏名	中小企業相談所長 石井 康夫
連絡先電話番号	06-6722-1151
連絡先メールアドレス	ishii@hocci.or.jp
□主な事業概要（定款記載事項等）	
(1)商工会議所としての意見の公表、国会、行政庁等に具申・建議、行政庁等の諮問への答申 (2)商工業に関する相談・指導、情報収集・提供、調査研究、講習会又は講演会の開催、施設の設置・維持・適用 (3)地域新産業創出事業の推進 (4)ビジネスチャンスの拡大と販路開拓事業の推進 (5)創業支援と産学官交流事業の促進 (6)人材確保と雇用対策事業の推進強化 (7)街づくり推進への支援 (8)商工業者との情報交換の促進事業	

(1) 所管地域の産業経済の現状と課題

【現状】本所が隔月に実施している2024年10月期の「市内企業景気動向調査」より本市内の景況を見ると、製造業の対前年同期比生産額業況指数は▲24と3P上昇。対前年同期比の原材料仕入価格は58と6P下降。製品販売価格は39と4P上昇し強含み。採算状況は▲23と4P上昇するもやや悪い。次に卸売業の対前年同期比販売額業況指数は3とプラスに転じた。対前年同期比の商品仕入額も5とプラスに転じた。商品仕入価格は54と4P上昇し強含み。商品販売価格も36と2P上昇し強含み。コメントより先行き不透明感が伺える。小売業の対前年同期比販売額業況指数は▲13と4P上昇。また、対前年同期比の商品仕入額も▲10と9P上昇した。商品仕入価格は67と18P上昇し強含み。商品販売価格も51と21P上昇し強含み。「価格上昇による買い控え」を訴える声が多い。

【課題】長引く原材料の高騰や円安の影響で、管内の中小企業・小規模事業者は打撃を受け、様々な課題に直面しており、市内中小零細企業を取り巻く事業環境は依然として厳しい状況が続いている。事業継続に向けた資金確保や財務体質の改善・強化に加え、時代に合ったビジネスモデルや事業を再構築させていくことも重要な課題であり、更には、中小零細企業経営者の高齢化で、次世代への円滑な事業承継といった難題も抱えている。

(2) 所管地域の活性化の方向性（事業の目標）

長引く原材料の高騰や円安の影響で、管内の中小企業・小規模事業者は打撃を受けており、様々な課題に直面している。2025年度についても、経営指導員による経営相談支援事業を強化し、資金繰り支援を中心とした経営の安定化、持続化を図っていく。また、地域活性化事業では、これまでの広域連携による商談会の開催による販売チャネルの創出や大規模展示会の開催による売上増進、ブランド戦略の構築の他、ものづくり優良企業賞応募企業の発掘・支援事業、工業振興事業などを取り入れ、地域経済の発展・売上増進を図っていく。更に、中小企業等の人材不足解消に向けた人材確保の機会を提供する他、製造業における人材育成やデジタル人材育成支援、事業再構築計画作成支援、円滑な事業承継のための取り組みに対する支援、脱炭素経営に向けた取組支援、事業継続に向けたBCP策定の支援を行い、所管地域の活性化に取り組んでいく。

(3) 事業を実施した効果

「テクノメッセ東大阪事業」では、過去最多の104社・団体が出展し、引合い件数は6,289件となり、満足率は95.7%と好評であった。新規で実施した「ものづくり優良企業賞応募企業の発掘・支援事業」では、計画を大きく上回る85社となり、商談数も127件を数え、満足率も高く、「情報・市場開拓のヒントが得られた」などの声が聞かれた。人材確保を支援する事業として行った「女性の活用・戦力化支援事業」では、参加企業が計画に達しなかったが、「求人・求職マッチング事業」では、東大阪管内だけでなく広域の大学と連携を推進することで支援企業数・満足率ともに目標を達成した。地域活性化事業全体を通して、支援実績率・満足率ともに横ばいで推移している。「経営相談支援事業」では、先行き不透明な中、物価高騰等の影響で資金繰りが悪化している事を受けた金融支援や労務支援をはじめ、事業計画書作成支援といった自社の経営状況の分析把握など、小規模事業者の課題解決に努め、満足度は高かった。

(4) 事業を実施した結果浮かび上がった課題・次年度への取り組み

地域活性化事業においては、学生の職場体験（インターンシップ）を支援する事業で、計画を大きく上回る企業数になったものの満足率が32.7%と低かったことから、インターンシップ生を多くの企業に派遣するための方策など見直しが求められる。経営相談支援事業については、多様化する相談内容に対応していく為、経営指導員個々の資質向上に加え、「経営の自立化」「深刻化する人手不足」「自然災害への対応」など課題解決に向けた経営支援に尽力する。また、専門性の高い経営相談については、専門家派遣制度をフル活用するなど小規模事業者に寄り添った伴走支援を進めていく。

I 経営相談支援事業

前年度支援企業数		1000 社				
支援メニュー		単位	当初計画	変更計画	実績	達成率
1	事業所カルテ・サービス提案	事業所	853	914	906	106.2%
2	支援機関等へのつなぎ	支援数	10	15	21	210.0%
3	金融支援（紹介型）	支援数	10	18	23	230.0%
4	金融支援（経営指導型）	支援数	136	206	261	191.9%
5	マル経融資等の返済条件緩和支援	事業所	10	10	10	100.0%
6	資金繰り計画作成支援	事業所	2	0	0	0.0%
7	記帳支援	事業所	10	39	38	380.0%
8	労務支援	支援数	110	132	163	148.2%
9	人材育成計画作成支援	事業所	20	25	36	180.0%
10	マーケティング力向上支援	事業所	3	1	1	33.3%
11	販路開拓支援	支援数	240	210	217	90.4%
12	事業計画作成支援	支援数	102	148	158	154.9%
13	創業支援	事業所	3	7	7	233.3%
14	事業継続計画（BCP）作成支援	事業所	2	5	7	350.0%
15	コスト削減計画作成支援	事業所	2	15	0	0.0%
16	財務分析支援	事業所	2	0	0	0.0%
17	5S支援	事業所	12	15	14	116.7%
18	IT化支援	事業所	2	4	4	200.0%
19	債権保全計画作成支援	事業所	1	0	0	0.0%
20	事業承継支援	事業所	1	0	0	0.0%
21	災害時対応支援	事業所	0	0	0	-
22	フォローアップ支援	事業所	203	0	0	0.0%
23	結果報告	事業所	853	914	906	106.2%

件数設定の根拠（今年度の特徴等）

所管地域は、小規模零細事業者が16,876社(令和3年経済センサス活動調査)と全体の7割近くを占め、こうした事業者の多くが経営資源に乏しく、長引く原材料高騰等の影響で、事業活動の中断や縮小を余儀なくされ資金繰りに苦慮している。同事業者には金融支援を中心に支援強化を図り、経営の安定化に努めていくと共に、ビジネスマッチング等販路開拓支援を行い新規顧客獲得や市場開拓支援で売り上げの拡大を図っていく。また、事業再構築を図る事業者の事業計画作成支援や事業承継、BCP策定等計画作成の支援を行い、経営の持続化を支援していく。景気の先行き不透明感が拭えない昨今、企業それぞれの経営課題に応じた伴走支援を通じて経営の安定化に努めていく。

支援のポイント・成果

経営指導員が管内中小事業者に対し、個々が持つ経営課題について支援を行った。カルテ全体では「906件」にのぼり、金融支援が経営指導・紹介型合わせて284件と最も多く、次いで販路開拓支援が217件、労務支援が163件、事業計画作成支援が158件とつづき、事業継続に向けた支援を行った。

【金融支援】S社は、精密機器部品の高周波熱処理を手掛ける。ここ直近は売上減少に加え、設備修繕費用が嵩み新規取引先開拓に努めている。当面の資金調達の為、マル経融資にて資金調達を行った。

【事業計画作成支援】M社は、木造住宅や社寺の新築・改修工事を手掛ける。受注を増加させる為にも自社の経営状況を分析把握したいと相談。損益分岐点を基にした売上目標、売価の見直しに加え、新たな受注獲得に向けた事業計画書の作成を支援した。また作成した事業計画書を活用し、設備導入ツールとして国の補助金にも申請することとなり、結果、採択された。

II 専門相談支援事業

事業名		単位	当初計画	変更計画	実績	達成率
24	法務相談	日数	22	22	39	177.3%
25	税務相談	日数	3	3	0	0.0%
26	金融相談	日数	0	0	0	-
27	労務相談	日数	15	15	8	53.3%
28	その他相談	日数	10	10	15	150.0%

支援のポイント・成果

法務相談が最も多く、内容も契約トラブルをはじめ契約書等の書面確認に係る相談など多岐にわたっていた。労務相談では、就業規則や助成金などに関する相談があった。また、その他相談では、商標登録や事業計画書作成に係る相談などがあった。専門家による相談支援については、相談に対する明確な対応方法や指導を実施することで、相談者の課題解決に繋がっている。

事業名		商い賑わい祭り事業			事業番号		3	新規/継続	継続
想定する実施期間		2015年度～	年度まで		11	年目	※複数年段階的実施事業は別紙にて計画を提出すること		
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) 企業ニーズ (内容・把握方法等)	物価高による影響で仕入コストの増加や消費者の購買意欲の低迷が叫ばれる昨今、商業者を取り巻く環境は飲食・サービス業を中心に厳しい経営状態にある。商業者が集積する商店街にとってもそれは例外ではなく、来街者増加に向けた取組みを行う必要がある。そこで、本所では商店街が来街者増加に向けた取組みを進めるよう促し、且つ取組みに対して支援することで商店街をはじめとした市域商業者の活性化に繋がった。 また、商店街の来街者増加に向けた取組みの1つとして歳末イベントを行っており、現在はコロナ禍での来街者減少時期からも人流は戻りつつある。商店街としてもPRに力を入れたいという背景から昨年は29商店街からイベントPRの相談・申込があり、本所としては引き続きニーズに応えられるよう支援を継続したい。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	東大阪市の57商店街							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	※販路開拓型 【実施内容】 市内の商店街を対象に、集客に繋がる歳末イベントをチラシへ掲載する目的で公募。イベント開催しない商店街については商店街のPRを集約したチラシを作成し「商い賑わい祭り」と称して、新聞折込や掲載商店街に配布し、商店街への集客を図る。また、イベント内容のブラッシュアップ等、適宜支援を行う。 【スケジュール】 8月～10月：参加商店街を募集 11月上旬：商店街の催事・PRを掲載したチラシを作成 11月下旬：チラシを新聞折込 11月下旬～12月下旬：各商店街の催事事業の実施							
		＜事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載＞							
		①府施策連携							
		②広域連携							
③市町村連携									
④相談相乗	既カルテ化事業者に対して地域活性化事業への参加促進を図った。								
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	32.0	総支援企業数(実績)	30.0	支援実績率	93.8%	満足率	80.0%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	代表指標	チラシ掲載後に売上が向上したと回答した商店街の割合						
		数値目標	70	%	実績数値	63.3	%	目標達成度	90.4%
	成果の代表事例	F商店街では、本事業のチラシに加え、各個店もSNS等で広報に力を入れたため歳末イベントは盛況に終わったと報告をいただいた。またその際、商店街単体での情報発信では限界があるため、引き続き商店街や地域の情報発信・イベント運営にご協力いただきたいとの声があった。							
	その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度	
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	掲載商店街数は目標を下回る結果となった。一部機能を停止している商店街や個店の経営で精一杯な商店街の存在が要因として考えられる。次年度においては、より多くの商店街がチラシに掲載できるよう、掲載募集の強化やチラシ媒体から冊子や電子版に変更するなど工夫したい。本事業については、掲載料無料で実施していることから商店街にとっては利用しやすい事業といえる。商店街や個店等のヒアリングを行いきめ細やかな支援を行える体制を作りたい。							

事業名		インターンシップ支援事業			事業番号		4	新規/継続	継続		
想定する実施期間		2014年度～	年度まで		12	年目	※複数年段階的実施事業は別紙にて計画を提出すること				
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) 企業ニーズ (内容・把握方法等)	将来の産業界を支える学生が職場体験を行うことにより、大学と企業の連携を深めるとともに、地域企業への関心を喚起し、中小企業への就職意識を高めることを目的とする。 東大阪は製造業を中心とした中小企業が多く、モノづくりに関心を持つ学生の確保を望んでおり、職場体験を通して、中小企業に対する理解を深める機会を創出する。									
	支援する対象 (業種・事業所数等)	市内製造業者 5,564社 ※令和3年経済センサス活動調査より									
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	インターンシップ受入企業を発掘。受入条件やカリキュラム等をガイドブックとして取りまとめ、インターン生派遣を希望する大学・高専・工科高校・専門学校等のキャリアセンターなどに情報提供し、学生の就業体験の機会を創出した。 2025年4月 事業実施(受入企業ガイドブック作成、学校並びに受入企業へ送付) 2025年5月～6月 教育機関・企業間で実施交渉、就活イベント等にてチラシ配布 2025年7月～9月 職場体験実施 2025年10月～12月 職場体験実施報告やアンケートの回収、集計作業									
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>									
		①府施策連携	労-8 中小企業の社長と若年求職者の交流事業 大阪府商工労働部人材育成課産業人材育成グループと連携して実施した。								
		②広域連携									
		③市町村連携	本所は事業の企画・運営を担い、市は事業への補助金交付を受けた。								
④相談相乗											
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	65.0	総支援企業数(実績)	101.0	支援実績率	155.4%	満足率	32.7%		
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	代表指標	受入実施企業数								
		数値目標	10社	実績数値	11社	目標達成度	110.0%				
	成果の代表事例	参加学生については、本事業へ参加することにより、仕事への意欲が向上した、働く者としての心構えが身に付いた、職場の雰囲気や仕事の流れが体感できたなどの声が多くあがった。また受入企業については、自社をPRできる良い機会となり、社会貢献にも繋がるなど企業イメージの向上の効果をあげた企業が多くあった。 以下は受入企業のコメント 【S社】 今回の受入は高校2年生ということで、弊社に入社を希望されるかどうかはわかりませんが、弊社社員はなかなか人に教える機会がなかったことから、良い経験ができたと思っています。									
	その他目標値の実績	目標値(計画)				目標値(実績)			目標達成度		
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	今回はインターン生の数こそ前回と同じであったが、大学生のインターン生がおらず、高校生のみの派遣という結果となった。派遣されるインターン生を増やすため、次年度からは、対象業種を製造業に限らず全業種に拡大するとともに、受入企業ガイドブックも製造業と非製造業にカテゴリー分けを行い、より多くの学生が興味をもつような工夫を凝らし、派遣者数の増加を目指す。									

事業名		経営革新の支援事業			事業番号		5	新規/継続	継続
想定する実施期間		2008	年度～	年度まで	18	年目	※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること		
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) 企業ニーズ (内容・把握方法等)	経営革新に取り組んでいる又は、これから申請しようと考えているが何から始めたらよいか分からない経営革新に前向きな中小企業の掘り起こしを行う。セミナーでは制度の案内や成功事例の共有等を行い、中小企業等経営強化法に基づく経営革新計画の承認取得を支援する。また、承認企業の事業計画書作成、計画実施をサポートすることにより、地域産業の牽引役となる成功企業を輩出する。 講演・講習会(セミナー)実施後に行うアンケート調査により令和6年度の回答からは営業力強化に対するニーズが見受けられた為、令和7年度については営業力強化に関連した内容で事業を実施する予定。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	市内製造業者 5,564社 令和3年経済センサス活動調査結果より							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	開催日：2025年8月21日 場 所：東大阪商工会議所 テーマ：物語的な中期経営計画の実践法！経営改善計画のシナリオづくりとPDCAサイクルのまわし方 講 師：(株)ユーマスブレイン 担当者 参加者：8社8名 内 容：①中小企業を取り巻く環境と中期経営計画の策定・推進法 ②経営革新計画の実例、シナリオの作り方 ③経営革新計画の承認制度等について(大阪府担当者) 開催日：2026年2月5日 場 所：東大阪商工会議所 テーマ：補助金・融資申請に役立つ「経営革新計画書の作り方」 講 師：ミチタス(株) 担当者 参加者：①経営革新計画が補助金・融資の際に与える効果 ②事業計画の考え方や具体的方法 ③経営革新計画の承認制度等について(大阪府担当者) ＜事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載＞							
		①府施策連携	大阪府経営支援課経営革新グループと連携しセミナー内容及び経営革新計画の取得を支援する為の概要から取得に係る手順、取得後の支援施策等について協力を得ながら、承認企業発掘促進に努めた。						
		②広域連携							
		③市町村連携							
		④相談相乗							
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	30.0	総支援企業数(実績)	20.0	支援実績率	66.7%	満足率	100.0%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	代表指標	経営革新計画承認に向けた取組みを実施する事業者の割合						
		数値目標	10.0	%	実績数値	35.0	%	目標達成度	350.0%
	成果の代表事例	受講企業のK社からは、経営革新計画の策定に向け「計画を立てる際に参考にしたい」との前向きな回答があった。 その他にも参加者アンケートより「社内で他メンバーへ展開させていきたい」「自社の営業力強化に努めたい」などの回答があった。							
	その他目標値の実績	目標値（計画）				目標値（実績）			目標達成度
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	支援企業数は目標数値まであと一歩であったが、参加者アンケートでは「満足・おおむね満足」の合計で100%となり、自社の経営革新についての知識が深まり今後の意識改革に繋がったものと分析する。							

事業名		中堅・中小企業における女性の就業、定着活用・戦力化支援事業			事業番号		6	新規/継続	継続																																				
想定する実施期間		2019年度～	年度まで		7	年目	※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること																																						
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) 企業ニーズ (内容・把握方法等)	労働力人口減少の局面にあって、中小企業・小規模事業者にとって新たな人材確保が喫緊の課題となっている。そのような中、女性をはじめ多様な人材が活躍できる環境を整えることが中小企業等の事業継続・発展に必要となっている。 そこで、中小企業等が女性人材等の積極的な活用を検討できるよう成功事例を紹介するなど、ダイバーシティ推進に向けた事業を展開する。 【企業ニーズ】 令和6年度東大阪市製造業に関する実態・ニーズ調査において、人員の過不足感について「かなり不足」5.2%、「やや不足」55.8%と6割以上が不足していると回答しており、女性をはじめとした多様な人材の活用が求められている。																																											
	支援する対象 (業種・事業所数等)	府下全業種の事業所を対象 事業所数384,332社 ※令和3年経済センサス活動調査結果より																																											
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	事業①女性活躍推進セミナー 開催日：2025年10月10日 場 所：東大阪商工会議所 テーマ：女性活躍が企業を動かす 内 容：〔ファシリテーター〕 テーマ：「女性版骨太の方針2025」～日本の女性が企業に求めていること～ 講 師：大阪市立男女共同参画センタークレオ大阪中央 〔事例発表〕 ①テーマ：多様な働き方が女性の活躍を拓く 講 師：(株)ママントレ 担当者 ②テーマ：事業を通じて女性の健康と幸せに貢献する 講 師：(有)青葉 担当者 〔施策紹介〕 ①(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構 大阪支部 ②OSAKAしごとフィールド 中小企業人材支援センター 参加者：12社16名（対象企業8社10名） 事業②女性向け合同企業説明会 開催日：2025年11月19日 場 所：東大阪商工会議所 出展企業：21社 参加者：64名 面談数：115件 ----- <事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載> <table><tr><td>①府施策連携</td><td colspan="8">大阪府商工労働部就業促進課女性就業推進グループと連携して実施した。</td></tr><tr><td>②広域連携</td><td colspan="8"></td></tr><tr><td>③市町村連携</td><td colspan="8">市より事業実施に係る補助金の交付を受けた。</td></tr><tr><td>④相談相乗</td><td colspan="8"></td></tr></table>								①府施策連携	大阪府商工労働部就業促進課女性就業推進グループと連携して実施した。								②広域連携									③市町村連携	市より事業実施に係る補助金の交付を受けた。								④相談相乗								
	①府施策連携	大阪府商工労働部就業促進課女性就業推進グループと連携して実施した。																																											
	②広域連携																																												
	③市町村連携	市より事業実施に係る補助金の交付を受けた。																																											
	④相談相乗																																												
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	50.0	総支援企業数(実績)	30.0	支援実績率	60.0%	満足率	96.6%																																				
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	代表指標	新規採用する企業数																																										
		数値目標	3	社	実績数値	9	社	目標達成度	300.0%																																				
	成果の代表事例	女性向け合同説明会において、A社では当日6名の求職者がブースを訪問し、後日2人が面接に訪れ、2名の採用に繋がった。																																											
	その他目標値の実績	目標値（計画）	80	名	目標値（実績）	64	名	目標達成度	80.0%																																				
女性向け合同企業説明会における参加者数																																													
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	【女性活躍推進セミナー】 大阪府や東大阪市に協力を得て、SNS、メールマガジンでの広報や本所会報誌などを用いた広報等を実施したが参加企業は目標には届かなかった。参加企業からの満足率は100%と高評価であった。 【女性向け合同企業説明会】 女性向け合同企業説明会においては、参加者は減少したが参加企業数は増加したため事業に対するニーズは高まっていると感じた。引き続き広報内容に注力し参加者の創出に努めたい。																																											

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	30.0	支援企業数(実績)	9.0	支援実績率	30.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	雇用環境を整えようとする企業割合						
		数値目標	70.0	%	実績数値	90.0	%	目標達成度	128.6%
	その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度	
実績／達成度②	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	20.0	支援企業数(実績)	21.0	支援実績率	105.0%	満足率	95.2%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	新規採用する企業数						
		数値目標	3	社	実績数値	9	社	目標達成度	300.0%
	その他目標値の実績	目標値（計画）	80	名	目標値（実績）	64	名	目標達成度	80.0%

事業名		求人・求職マッチング事業		事業番号		7	新規/継続	継続	
想定する実施期間		2008年度～	年度まで	18	年目	※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること			
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) 企業ニーズ (内容・把握方法等)	少子高齢化に伴う労働力人口の減少等、中小企業を取り巻く雇用環境は厳しい状況にある。若手人材を求める企業と働く意欲のある若手人材を結び付けるため、大学との情報交換会や求人サイトの運営による雇用機会の創出や、中高卒の新規学卒者を雇用するための説明会による情報収集の場を提供することで人手不足の解消を図る。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	市内事業所 24,408社 ※令和3年経済センサス活動調査より							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	事業①：新規学卒者求人説明会 開催日：2025年5月23日 場 所：東大阪商工会議所 内 容：1) 学卒求人の書き方・受理確認について 2) 公正な採用選考について 講 師：布施公共職業安定所 参加企業：23社27名（対象企業25社27名） 事業②：合同企業説明会 開催日：2025年6月18日 場 所：アクセス梅田フォーラム 出展企業：25社（対象企業24社） 来場者：35名 面談数：142件 事業③：大学キャリアセンターとの情報交換会 開催日：【1回目】2025年9月19日 【2回目】2026年2月27日 場 所：【1回目】東大阪商工会議所 【2回目】東大阪商工会議所 内 容：【1回目】 第一部 参加大学の紹介 第二部 グループ別名刺交換及び情報交換会 【2回目】 第一部 参加大学の紹介 第二部 グループ別名刺交換及び情報交換会 参加大学：【1回目】17大学17名 【2回目】12大学12名 参加企業：【1回目】42社42名（対象企業37社37名） 【2回目】43社43名（対象企業42社42名） 事業④：就職プラザ 開催期間：2025年4月～2026年2月(3月は更新期間) 内 容：新卒、第2新卒、中途、外国人留学生等を対象に東大阪市域の求人情報を掲載する新規学卒者向け求人情報サイト 参加企業：108社(アクセス数：17,155件) 事業⑤：中小企業と若者との交流事業 開催日：【1回目】2025年5月19日 【2回目】2025年7月3日 【3回目】2025年10月22日 【4回目】2025年12月15日 場 所：【1回目】近畿大学 【2回目】大阪商業大学 【3回目】大阪産業大学 【4回目】東大阪大学 内 容：1) 中小企業の魅力と働くメリットについて 2) 企業PR 3) グループディスカッション 参加企業：【1回目】5社 【2回目】4社 【3回目】3社 【4回目】8社 参加学生：【1回目】44名 【2回目】183名 【3回目】82名 【4回目】25名							
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携	大阪府の地域労働ネットワーク事業の一環として、大阪府商工労働部雇用推進室労働環境課と連携し、若者や中高年齢者などの求職者にPR等を行った。また参加企業に対し府広報物の配布や府施策事業の利用を推進した。						
		②広域連携							
③市町村連携	市より事業への補助金交付を受けた。								
④相談相乗									

事業 全体 の実績 ／ 目標 達成 度	計画に対する 実績（数値）	総支援企業 数(計画)	211.0	総支援企業 数(実績)	247.0	支援 実績率	117.1%	満足率	83.2%	
	目標の達成度 （支援企業を どう変化させる ことができたか）	代表指標	新規採用者数							
		数値目標	4	人	実績数値	2	人	目標達成度	50.0%	
	成果の代表事例	T社から合同企業説明会を通じて、面接の申し込みがあり、採用に繋がったとの回答があった								
	その他目標値の実績	目標値 （計画）	100	名	目標値 （実績）	334	名	目標達成度	334.0%	
交流会参加者数										
実施 結果	課題及び次期 以降への取組み （実績が目標値に達してい ない場合は、その理由や今後ど のようにフォローするのか）	【新規学卒者求人説明会】 参加企業数は目標を超え、参加企業全てから「参考になった」と回答があったので、次年度も引き続き進めていきたい。 【合同企業説明会】 参加企業からのニーズは高い事業となっているが、来場者が少ないため低い満足度となった。次年度については単独での開催でなく、他の合同企業説明会に参加するなど実施手法を変更したい。 【大学就職部と企業採用担当者との情報交換会】 昨年度から年2回開催となった。各回定員を超える申し込みがあり、満足度も100%と高評価であった。新規大学の参加に向けて就業促進課とも連携して募集を進めていく。 【就職プラザ】 掲載企業数は目標を達成したが満足度が低かったので、次年度は求職者に周知するためのチラシを作成することでHP閲覧数の増加に繋げる。 【中小企業と若者との交流事業】 参加企業数は目標を超え、満足度も100%と高評価であった。次年度については、東大阪管内だけでなく広域の大学と連携し事業を進めていく								

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	20	支援企業数(実績)	23.0	支援実績率	115.0%	満足率	82.6%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	参加企業数は目標を超え、満足度も高かったことから目標は達成できたと考える。 指標：今後選考を行うにあたり「参考になった」と感じる割合						
		数値目標	70.0%	実績数値	95.6%	目標達成度	136.6%		
	その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度	
実績／達成度②	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	25	支援企業数(実績)	24.0	支援実績率	96.0%	満足率	66.7%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	参加ニーズは高く、一定数企業確保は出来るものの、求職者の来場が少ない結果となった。実施時期や会場の変更等工夫を重ねているが結果が出ず、次年度については実施手法んp変更を行う。 指標：新規採用者数						
		数値目標	4人	実績数値	2人	目標達成度	50.0%		
	その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度	
実績／達成度③	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	80	支援企業数(実績)	79.0	支援実績率	98.8%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	満足度も高く、参加企業の求人手法について見直すきっかけになったことから目標は達成できたと考える。 指標：キャリアセンターとの情報交換を通じて、自社の求人手法について見直を実施すると回答した事業所の割合						
		数値目標	70.0%	実績数値	81.0%	目標達成度	115.7%		
	その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度	

実績／達成度④	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	70	支援企業数(実績)	105.0	支援実績率	150.0%	満足率	69.5%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	登録企業数は目標を超えたが、満足度は低い結果となった。次年度については学生に訴求するチラシも作成し、効果を高める。 指標：面接に至った件数						
		数値目標	20	社	実績数値	4	社	目標達成度	20.0%
	その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度	
実績／達成度⑤	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	16	支援企業数(実績)	16.0	支援実績率	100.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	参加企業数は計画通りで満足度も高かったことから目標は達成できたと考える。 指標：若者に自社のPRができたと感じる企業割合 交流会参加人数						
		数値目標	70.0	%	実績数値	87.5	%	目標達成度	125.0%
	その他目標値の実績	目標値（計画）	100	名	目標値（実績）	334	名	目標達成度	334.0%

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	20	支援企業数(実績)	16.5	支援実績率	82.5%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	セミナーにてBCPの基礎知識を学んだ後、簡易版BCP「これだけは！」シートを作成						
		数値目標	20	社	実績数値	16	社	目標達成度	80.0%
	その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度	
実績／達成度②	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	2	支援企業数(実績)	2	支援実績率	100.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	セミナー参加者等でもっと詳しいBCPを策定希望される事業所のBCP策定支援						
		数値目標	2	社	実績数値	2	社	目標達成度	100.0%
	その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度	

事業名		ものづくり支援拠点（MOBIO）連携推進事業			事業番号		9	新規/継続	継続		
想定する実施期間		2008年度～		年度まで	18	年目	※複数年段階的実施事業は別紙にて計画を提出すること				
事業の概要	事業の目的 （現状や課題をどのような状態にしたいか） 企業ニーズ （内容・把握方法等）	様々なものづくりに関する支援資源を有するMOBIOを活用を通じて、管内と府下事業所の新製品・技術の開発や経営力の強化などを図っていく。また多様な製造業が集積する本市の強みを活かし、全国からのものづくり相談を管内と府下事業所へマッチングすることで府下事業所の販路拡大を図り、地域産業の活性化につなげる。 課題としては府内支援機関の支援メニューを完全に把握できていない為、MOBIO会議等に積極的に出席し、情報収集に努め、支援の幅を広げる必要がある。									
	支援する対象 （業種・事業所数等）	府内製造業者38,943社 ※令和3年経済センサス活動調査より									
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	中小製造業の街・ものづくり拠点地域としての強みを活かし、全国からの取引相談をMOBIO内(クリエイション・コア東大阪北館)に集約。経営指導員が随時、対応することで、府下事業所へ取引マッチングと販路開拓支援、資金繰り支援を行った。結果、1,135件の取引コーディネートや販路支援、資金繰り改善等を行った。									
		＜事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載＞									
		①府施策連携	府施策連携局3番：MOBIOと連携し、府内各地域のものづくり企業が府のMOBIOを活用することによって、新製品・技術の開発や経営力の強化などを図り、MOBIOの様々な機能や府関連施策などの支援資源を、本所を介して、地域のものづくり企業の利用に繋げた。								
		②広域連携									
		③市町村連携									
④相談相乗											
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	270	総支援企業数(実績)	1,135	支援実績率	420.4%	満足率	100.0%		
	目標の達成度 （支援企業をどう変化させることができたか）	代表指標	引き合い幹旋件数								
		数値目標	500	件	実績数値	1135	件	目標達成度	227.0%		
	成果の代表事例	OEM先の紹介や外注先に関する相談に対しては、商工会議所のネットワークを活用し、市内事業者の紹介などを通じて課題解決につなげた。また、販路拡大に取り組む事業所に対しては、展示会や交流会への参加を促進することで、ニーズに応じた機会を提供し、要望に沿った支援を実施した。									
	その他目標値の実績	目標値（計画）				目標値（実績）			目標達成度		
実施結果	課題及び次期以降への取組み （実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか）	事業活動の活発化に伴い、販路開拓支援をはじめとする相談件数が増加し、支援対象企業数は目標値を上回る結果となった。次年度以降も関係機関との連携を強化し、取引の活性化につなげていく。また、事業承継や融資相談等にも柔軟に対応し、企業ニーズに即した効果的な支援を継続して実施する。									

事業名		人材ニーズ対応支援事業			事業番号		10	新規/継続	継続
想定する実施期間		2020	年度～	年度まで	6	年目	※複数年段階的実施事業は別紙にて計画を提出すること		
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) 企業ニーズ (内容・把握方法等)	新型コロナウイルス感染拡大は終息を迎えたが、管内事業所においては原材料、人件費などの物価高騰により大きな影響を受けている。一方で生産年齢人口の減少に伴う人材不足が恒常化している。セミナー後のアンケートによると、今後は従業員の高齢化が進むことが予想されるため、深刻な問題となる前に、業務形態の変更などを喫緊に進める必要性に迫られている事業所が見受けられる。しかしながら、管内事業所においてはそのような活動を進める上での人材を確保しておらず進められないのが現状である。そこで（公財）大阪産業局と連携し、管内事業所が抱える課題を抽出しその解決策の提示、各種支援機関へマッチングするなどにより管内事業者等労働環境の改善を図り、各事業所の発展に更に寄与していく。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	府内製造業者38,943社を対象とする。 ＊令和3年経済センサス活動調査より							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	事業①中小企業の人材確保セミナーの実施 開催日：2025年8月28日 場 所：東大阪商工会議所 内 容：(1)基調講演 テーマ 採用・定着セミナー 講 師 (株)サンレディース 担当者 (2)施策説明・事例紹介 テーマ 人材確保に繋がる「人材採用コンシェルジュ事業」の活用方法・事例紹介 講 師 (公財)大阪産業局 HR戦略部 担当者 参加者数：14社14名 事業②人材確保に関するハンズオン支援 実施時期：2025年8月以降随時 実施方法：個別会社訪問による 内 容：・人材不足等に関する個別相談の掘起し ・主に「中小企業のための人材採用コンシェルジュ」を活用したマッチング など 個社支援の実施 5社 A社：不足していた事務職の人材が本セミナーの受講により事務職の正社員採用からパート採用にシフトしたことで、速やかな雇用確保ができた。また、加えて現場社員を雇用するため産業局アドバイザーより支援できるメニューを提案され活用された。また、自社のHP（リクルートページ）の構成や記載（箇条書き）方法等を支援された。 K社：定年退職により現場オペレーターが不足し、営業部門においても1名の補充採用を希望している。解決のため支援メニューの提案として、インターネットより紙媒体の活用を提案した。また、大阪産業局と提携している30社の人材紹介パートナーを活用した情報収集の支援を行った。 U社：新たな事務システムを導入したためパソコン操作に長けた人材を確保についてハローワークへ提出している求人票データの記載内容に課題があると判断し大阪産業局にて開催される講座を紹介し参加したのちに開催される個別面談会にて求人票の記載内容のチェックとアドバイスを支援した N社：中長期計画に伴い現場オペレーターの人材確保を希望を受け求人票のブラッシュアップ、人材育成や事業計画作成、人事評価制度の作成の支援をした。 上記5社の相談に対して、（公財）大阪産業局の採用戦略アドバイザーと本所経営指導員が帯同訪問し課題解決を図った。							
		＜事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載＞							
		①府施策連携	府施策連携商1番 管内事業者の事業継続のための中核人材や今後中核を担う人材など各事業者が求める人材確保に向けた支援を通じ、（公財）大阪産業局と連携し、管内事業者等の人材確保支援を行った。また、セミナーの講師選定など事業企画の段階から（公財）大阪産業局と連携し実施した。						
②広域連携									
③市町村連携									
④相談相乗									
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	25	総支援企業数(実績)	19	支援実績率	76.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	代表指標	（公財）大阪産業局との連携により人材確保をはじめとした人材戦略に取り組む企業数						
		数値目標	5	社	実績数値	5	社	目標達成度	100.0%
	成果の代表事例	個社支援企業4社の内、現在も（公財）大阪産業局の採用戦略アドバイザーと本所経営指導員が継続して支援しており、内1社がセミナー受講によりパート1名を採用された。また、他社においては2025年度には採用が決まる可能性がある。							
	その他目標値の実績	目標値（計画）				目標値（実績）			
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	今回、セミナーの参加申込み企業数が計画時の参加数を上回る結果となった。但し、当日仕事の都合等で急遽参加申込いただいた企業の中から2社の欠席があった。次年度においても様々な状況下不測の事態も考慮し、リアル開催だけでなく、オンラインでの開催も視野に入れて、その時々状況に合わせた実施方法を検討する必要がある。							

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	20	支援企業数(実績)	14	支援実績率	70.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	人材戦略支援メニューの活用を検討する企業数						
		数値目標	10	社	実績数値	12	社	目標達成度	120.0%
	その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度	
実績／達成度②	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	5	支援企業数(実績)	5	支援実績率	100.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	（公財）大阪産業局との連携により人材を確保をはじめとした人材戦略に取り組む企業数						
		数値目標	5	社	実績数値	5	社	目標達成度	100.0%
	その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度	

事業名		技術専門校を活用した中小企業従業員等の技術 向上事業			事業番号		12	新規/継続	継続																																				
想定する実施期間		2009	年度～	年度ま で	17	年目	※複数年段階的实施事業は 別紙にて計画を提出すること																																						
事業 の 概 要	事業の目的 (現状や課題をどのような 状態にしたいか) 企業ニーズ (内容・把握方法等)	事業の目的 企業において人材育成は重要度を増す一方、従業員に対し技術教育が行き届かず、製造現場における生産性の向上を阻害する一因となっている。本事業は東大阪高等職業技術専門校の設備を活用し、若手従業員を早期に育てる為の基礎知識及び、機械CADの図面の描き方などの個別技術を習得することにより企業全体の技術力等の向上を目指す。 企業ニーズ 同事業後に実施するアンケート調査により「普段業務が忙しく、セミナーに参加することで、落ち着いて製造現場に役立つ基礎知識を座学として学べる」「他社とグループワークをすることで自社では学べないことも学べる」などの声が過去から多く、そのニーズを次年度の計画に反映し、実施している。																																											
	支援する対象 (業種・事業所数等)	府内製造業者38,943社を対象とする。 ＊令和3年経済センサス活動調査より																																											
	実施時期・具体的な 内容及び事業手法	事業①：製造現場ではたらく若手従業員の早期戦力化セミナー 開催日：2025年7月29日・30日 場 所：大阪府立東大阪高等職業技術専門校 内 容：製造現場の仕事⇒モノ・お金の流れ、4M（人・材料・設備・方法） とQCD（品質・コスト・納期） 職場の安全⇒安全衛星・安全対策・安全活動 品質管理⇒製造業における品質管理・SQC、TQCの概要・QCの7つ道具 生産管理の基礎⇒7つのムダ 参加者：14社 21名 事業②：機械CAD入門セミナー 開催日：2025年10月4日・18日・25日 場 所：大阪府立東大阪高等職業技術専門校 内 容：【1日目】CADの概要、作図基本機能及び補助機能（線、円、長方形、OSNAPなど）について 基本編集機能（移動、複写、オフセット、トリムなど）について、寸法・文字記入について 【2日目】画層機能について、投影図作成、 作図機能及び補助機能について（基本操作確認、多角形、構築線、ポリラインなど） 【3日目】寸法機能応用について、応用編集機能（基本操作確認、分解、回転、鏡像、配列複写など）について、機械図面作成～印刷（課 題：縮尺あり） 参加者：15社 15名 ＜事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載＞ <table><tr><td>①府施策連携</td><td colspan="8">大阪府立東大阪高等職業技術専門校から講師の派遣、施設利用を活用し、中小企業在職者の技術向上を目指した。</td></tr><tr><td>②広域連携</td><td colspan="8"></td></tr><tr><td>③市町村連携</td><td colspan="8"></td></tr><tr><td>④相談相乗</td><td colspan="8"></td></tr></table>								①府施策連携	大阪府立東大阪高等職業技術専門校から講師の派遣、施設利用を活用し、中小企業在職者の技術向上を目指した。								②広域連携									③市町村連携									④相談相乗								
		①府施策連携	大阪府立東大阪高等職業技術専門校から講師の派遣、施設利用を活用し、中小企業在職者の技術向上を目指した。																																										
		②広域連携																																											
		③市町村連携																																											
		④相談相乗																																											
①府施策連携	大阪府立東大阪高等職業技術専門校から講師の派遣、施設利用を活用し、中小企業在職者の技術向上を目指した。																																												
②広域連携																																													
③市町村連携																																													
④相談相乗																																													
事業 全 体 の 実 績 ／ 目 標 達 成 度	計画に対する 実績（数値）	総支援企業 数(計画)	30	総支援企業 数(実績)	32.5	支援 実績率	108.3%	満足率	100.0%																																				
	目標の達成度 （支援企業を どう変化させる ことができたか）	代表指標	受講したセミナーやワークショップで得た基礎知識が製造現場で活用できると感じた事業所の割合																																										
		数値目標	80.0	%	実績数値	100.0	%	目標達成度	125.0%																																				
	成果の代表事例	・製造現場ではたらく若手従業員の早期戦力化セミナー：「役に立つ学びだったため自社でも活用していきたい」といった、直接業務につながる前向きな意見が受講者より示された。 ・機械CAD入門セミナー：「とても理解できた。普段の業務に活かしていきたい」などのアンケート回答があり、本セミナーが自社において業務効率化につながることが期待される。																																											
	その他目標値の実績	目標値 (計画)				目標値 (実績)			目標達成度																																				
実施 結 果	課題及び次期 以降への取組み (実績が目標値に達してい ない場合は、その理由や今後 どのようにフォローするのか)	今回、「製造現場ではたらく若手従業員の早期戦力化セミナー」について、参加者数は21名と集客でき、社数は14社であった。「機械CAD入門セミナー」に関しても17社19名と目標に達する結果となった。次年度においても今年度同様、周知を徹底するとともに協力期間にもメルマガやHP掲載等で周知を依頼する。また、両セミナーともに満足度が高いことから本事業を促進していく。																																											

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	15	支援企業数(実績)	17.5	支援実績率	116.7%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	製造現場での基礎知識を活用できると感じた事業所の割合						
		数値目標	80.0	%	実績数値	100.0	%	目標達成度	125.0%
	その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度	
実績／達成度②	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	15	支援企業数(実績)	15	支援実績率	100.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	習得した技術を現場で活用できると感じた事業所の割合						
		数値目標	80.0	%	実績数値	73.4	%	目標達成度	91.8%
	その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度	

事業名		新事業展開テイクオフ支援事業			事業番号		12	新規/継続	継続			
想定する実施期間		2022年度～	年度まで		4	年目	※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること					
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) 企業ニーズ (内容・把握方法等)	エネルギー・物価高騰、円安による調達コスト増は、中小企業経営に深刻な影響を与え続けているほか、人材不足を要因とした経営悪化も急増する等人材不足問題も顕著となっている。中小企業の息切れが本格化することが危惧されている中、新事業展開にチャレンジする府内中小企業者の事業計画実行段階の課題を集中的に支援し、事業化を早期に実現することで、中小企業の成長を促進し大阪経済の力強い回復を図る。 また、大阪府商工労働部の「大阪府内企業経営実態調査」によると、事業再構築に取り組む企業は、コロナ禍などの社会事象から悪影響を受けている企業が多く、2020年4月以降に事業再構築を実施した府内企業は、大企業で41.3%、中小企業で25.3%、小規模事業者で17.0%と多く、コロナ禍以降、変化した新たな社会環境に対応したビジネスに意欲的な企業が多くあることが伺える。										
	支援する対象 (業種・事業所数等)	府下全業種の事業所対象 事業所総数469,446社 ※令和3年経済センサス活動調査結果より										
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	事業① 開催日：2025年5月22日 場 所：東大阪商工会議所 テーマ：新事業進出のための事業計画書作成支援セミナー 内 容：第1部「新事業を成功に導く事業計画作成のポイント」 講 師：e&i経営研究所 代表 第2部「新事業展開テイクオフ支援事業の説明」 講 師：大阪府商工労働部中小企業支援室 経営支援課 経営革新グループ 担当者 参加者：29社32名（対象企業29社32名） 事業② 開催日：2025年11月7日 場 所：東大阪商工会議所 テーマ：新事業進出のための事業計画書作成支援セミナー 内 容：第1部「事業計画書作成のポイント」 講 師：あるく経営㈱ 代表取締役 中小企業診断士 第2部「大阪産業局の施策説明（事例紹介）について」 講 師：公益財団法人大阪産業局 産業振興部 地域連携推進チーム 参加者：10社10名（対象企業10社10名） ＜事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載＞										
		①府施策連携	府施策連携：商工関係No.18 新事業展開テイクオフ支援 大阪府商工労働部経営支援課と大阪産業局地域連携推進チームと連携し実施した。									
		②広域連携										
		③市町村連携										
④相談相乗												
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	50	総支援企業数(実績)	39	支援実績率	78.0%	満足率	94.7%			
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	代表指標	事業再構築するための事業計画を作成するために必要な知識を習得できたと感じた事業所の割合									
		数値目標	80.0	%	実績数値	100.0	%	目標達成度	125.0%			
	成果の代表事例	参加者アンケートから事業再構築のための事業計画書作成について習熟度（理解度）についての質問に「理解できた」「少し理解できた」が9割を超えていた。また、参加者の中には、「SWOT分析等について分かりやすい説明で計画を立てやすくなった」など前向きな意見も聞くことができた。										
	その他目標値の実績	目標値（計画）				目標値（実績）			目標達成度			
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	参加者は2024年度と比較してほぼ横ばいであった。事業計画書の作成は補助金申請をはじめ融資活用等、様々な場面で必要となる為、本事業の実施は、事業所の付加価値を高めるためにも重要度が高いものと思われる。										

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	25	支援企業数(実績)	29	支援実績率	116.0%	満足率	96.4%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	事業再構築のための事業計画を作成するために必要な知識を習得できたと感じた事業所数						
		数値目標	80.0	%	実績数値	100.0	%	目標達成度	125.0%
	その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度	
実績／達成度②	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	25	支援企業数(実績)	10	支援実績率	40.0%	満足率	90.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	事業再構築のための事業計画を作成するために必要な知識を習得できたと感じた事業所数						
		数値目標	80.0	%	実績数値	100.0	%	目標達成度	125.0%
	その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度	

実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	支援実績率は89%と昨年度から向上した。特に「モノづくり企業向けブランディングセミナー」では目標とする支援企業数を大幅に超える成果が得られ、当該層におけるブランディングニーズの高さが明確に裏付けられた。一方で、「中小企業ブランディング成功事例研究セミナー」については目標未達であり、特に「Ⅱ」においては支援実績率が40%と低調であった。この集客の乖離は、登壇企業の知名度に依存したPRが先行し、ターゲット層が求める「事例が持つノウハウの再現性」や「現場のリアルなストーリー」という本質的な価値を十分に訴求しきれなかった点に原因がある。 しかしながら、受講後の満足度は極めて高く、提供コンテンツの質と開催の意義については高く評価されている。この評価を次年度は最大限に活用し、PRを見直すことで、ターゲット層のニーズを掘り起こせるようなPRを行う。次年度においても具体的な成功事例を通じた普及啓発を強化し、潜在ニーズを掘り起こすとともに、企業がブランディングへ取り組むための機運を醸成するセミナー運営を行いたい。
------	--	---

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	50	支援企業数(実績)	41	支援実績率	82.0%	満足率	94.9%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	ブランディングの具体的な取組みに関する知識の修得を促すことができた。 指標：講義を受けてブランディングに取り組みたいと回答した企業の割合						
		数値目標	80.0	%	実績数値	100.0	%	目標達成度	125.0%
	その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度	
実績／達成度②	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	30	支援企業数(実績)	12	支援実績率	40.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	ブランディングの具体的な取組みに関する知識の修得を促すことができた。 指標：講義を受けてブランディングに取り組みたいと回答した企業の割合						
		数値目標	80.0	%	実績数値	100.0	%	目標達成度	125.0%
	その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度	
実績／達成度③	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	20	支援企業数(実績)	35	支援実績率	175.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	ブランディングの具体的な取組みに関する知識の修得を促すことができた。 指標：講義を受けてブランディングに取り組みたいと回答した企業の割合						
		数値目標	80.0	%	実績数値	100.0	%	目標達成度	125.0%
	その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度	

事業名		グローバル人材活用支援事業			事業番号		14	新規/継続		
想定する実施期間		2020年度～	年度まで		5	年目	※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること			
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) 企業ニーズ (内容・把握方法等)	少子高齢化に伴う労働力人口の減少等、中小企業を取り巻く雇用環境は厳しい状況にあり、多様な人材活用は中小企業にとって喫緊の課題である。そこで、特定技能など外国人材のニーズは高まりつつある。一方で外国人材採用に係る煩雑な手続きなどから採用活動に踏み出せない小規模事業者・中小企業も多い。そこで、監理団体などから様々な支援メニューの紹介や実際に特定技能を採用している企業から事例発表を行うことで管内中小企業等の外国人労働者雇用促進に繋げる。更に外国人留学生を主な対象にした合同企業説明会や外国人留学生や特定技能の採用を検討する企業と専修学校・監理団体とのマッチング会を開催する。								
	支援する対象 (業種・事業所数等)	市内事業所 24,408社 ※令和3年経済センサス活動調査より								
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	事業①：外国人材雇用活用セミナー 開催日：2025年7月17日 場 所：東大阪商工会議所 内 容：第一部（セミナー） テーマ：在留外国人の採用が人手不足を解消する！ 講 師：(株)YOLO JAPAN 第二部（事例発表） 講 師：(株)中農製作所 第三部（施策説明） 講 師：大阪外国人材採用支援センター 参加企業：21社24名（対象企業20社22名） 事業②：外国人留学生向け合同企業説明会 開催日：2025年6月19日 場 所：アクセス梅田フォーラム 出展企業：8社（対象企業8社） 来場者：137名 面談数：281件 事業③外国人留学生等受入企業のマッチング交流会 開催日：2026年2月 場 所：東大阪商工会議所 出展団体：25団体 来場者：15社15名（対象企業15社15名） ブース訪問数：51件								
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>								
		①府施策連携	(公財)大阪産業局と連携し管内事業所の外国人労働者雇用促進に向けたセミナーを実施するとともに個別の事業所の課題解決に向けた相談会を実施した。							
		②広域連携								
	③市町村連携	市より事業への補助金交付を受けた。								
④相談相乗										
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	50	総支援企業数(実績)	43.5	支援実績率	87.0%	満足率	97.7%	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	代表指標	外国人材マッチングプラットフォーム事業（個別相談など）を利用する企業数							
		数値目標	5	社	実績数値	4	社	目標達成度	80.0%	
	成果の代表事例	C社から合同企業説明会を通じて、面接の申し込みがあり、採用に繋がったとの回答があった								
	その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度		
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	①外国人材雇用活用セミナー 参加企業数は目標を超え、満足度も95.2%と高評価であったので、次年度も引き続き進めていきたい。 ②外国人留学生向け合同企業説明会 参加企業の満足度も高く、面談数も目標値を大きく超えたので、出展企業の増加に向けて事業のPRを強化していきたい。 ③外国人留学生等受入企業のマッチング交流会 来場者からは高い満足度を得られたものの、来場者が昨年と比較しても少なかったので、次年度以降は協議の上実施手法を検討していきたい。								

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	20	支援企業数(実績)	20.5	支援実績率	102.5%	満足率	95.2%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	外国人材マッチングプラットフォーム事業（個別相談など）を利用する企業数						
		数値目標	5	社	実績数値	4	社	目標達成度	80.0%
	その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度	
実績／達成度②	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	10	支援企業数(実績)	8.0	支援実績率	80.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	面談件数						
		数値目標	100	件	実績数値	281	件	目標達成度	281.0%
	その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度	
実績／達成度③	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	20	支援企業数(実績)	15.0	支援実績率	75.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	新たに外国人材を採用する企業数						
		数値目標	5	社	実績数値	0	社	目標達成度	0%
	その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度	

事業名		デジタル人材育成支援事業		事業番号		15	新規/継続	継続	
想定する実施期間		2024年度～	年度まで	2	年目	※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること			
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) 企業ニーズ (内容・把握方法等)	人口減少時代において人材確保が困難となる中、生産性の維持・向上のためには業務のデジタル化は重要な選択肢のひとつであるが、中小企業は需要の高いデジタル人材の採用は難しい現状がある。このことから、現有の従業員を対象としたデジタル人材を育成しDX・IT化を推進する。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	市内事業者 24, 408社 ※2021年経済センサス活動調査結果より							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	実施内容 8月～11月かけて、セミナー・ワークショップを計5回実施した。 事業①：DX・IT導入キックオフセミナー ～導入事例に学ぶ効果的な進め方～ 本セミナーでは、参加者がDX・IT導入への第一歩踏み出すきっかけとすることを目的として開催。DXやIT化の基本的な考え方に加え、実際の導入事例をもとに、効果的な進め方や成功のポイントを学んだ。 開催日：2025年8月1日 場 所：東大阪商工会議所 講 師：延terprise 代表 発表企業1:(有)アスリート 発表企業2:(株)サンコー技研 参加者：20社28名（対象企業18社25名） 事業②：デジタル人材育成セミナー 「デジタル化の次を目指す！～経営と現場をつなぐDX～」 2部構成で開催し、第1部ではDXの基礎から実践を学び、第2部では事例発表として中小企業のDX推進の具体的な取り組みを紹介した。 開催日：2025年9月17日 場所：東大阪商工会議所 講 師：(株)エムティブレイン 発表企業：ハードロック工業(株) 代表取締役社長 参加者：30社36名（対象企業28社34名） 事業③：デジタル人材育成セミナー 「生成AIビジネス活用実践講座」 近年急速な成長を見せる生成AIをビジネスで活用するため、実際にPCを用いて操作しながら基礎知識を習得した。 開催日：2025年10月14日 場所：東大阪商工会議所 講 師：(株)OISTART 代表取締役 参加者：30社40名（対象企業29社38名） 事業④：デジタル人材育成セミナー 「AI活用業務効率化・自動化セミナー」 オフィス業務を省力化する生成AIやRPA・OCRの活用について、導入のコツや効果などデモを交えてわかりやすく解説した。 開催日：2025年11月14日 場所：東大阪商工会議所 講 師：シー・システム(株) 専務取締役 参加者：41社59名（対象企業33社49名） 事業⑤：デジタル人材育成セミナー「モノづくり現場におけるAI活用セミナー」 製造現場でのAI導入事例や課題、導入のポイント等について分かりやすく解説した。 開催日：2025年11月26日 場 所：東大阪商工会議所 講 師：(株)ブリッジ・ソリューション 代表取締役 参加者：17社23名（対象企業17社23名）							
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携	府施策連携（商-2）大阪DX推進パートナーズ及び大阪DX推進プロジェクトと連携し、講師を選定。管内企業の生産現場やバックオフィスなどへデジタル化を推進するセミナー・ワークショップを実施した。						
		②広域連携							
③市町村連携									
④相談相乗									

事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	95	総支援企業数(実績)	145	支援実績率	152.6%	満足率	92.8%	
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	代表指標	講義を受けてDX・IT化に取り組みたいと回答した割合							
		数値目標	80.0	%	実績数値	94.4	%	目標達成度	118.0%	
	成果の代表事例	事例① 小売卸業を営む管内企業において、セミナー参加を契機にDX推進に向けた意識醸成が進んだ。従来より一部IT化は進めていたものの、依然としてアナログ業務が多いという課題認識のもと、社内の問題点の洗い出しに着手。まずは全社的な取組ではなく、個人単位での業務改善から着手する方針を定め、自身の業務におけるデジタル活用による効率化を目標として具体的な取組を開始している。								
	その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度		
実施結果	課題及び次期以降への取組み （実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか）	R7年度は、生成AIやRPA・OCRなど、業務の自動化・効率化に関するセミナーについて、当初の想定を上回る参加があった。このことから、参加事業所においては、デジタル技術を実務に活用したいというニーズが高まっていることが確認された。これを踏まえ、R8年度は、より発展的かつ実践的な内容でのセミナー開催を行うとともに、新たなワークショップを追加し、参加者ニーズのさらなる深掘りを図る。 一方、デジタル化に関する導入的な内容のセミナーについては、一定の集客は見られるものの、内容が参加事業所間で一巡している状況が見受けられることから、R8年度においては導入セミナーの実施を見直し、より実務に直結したテーマに重点を置いた構成とする。								

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	20	支援企業数(実績)	20	支援実績率	100.0%	満足率	88.9%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	講義を受けてDX・ITに取り組みたいと回答した割合						
		数値目標	80.0	%	実績数値	94.4	%	目標達成度	118.0%
	その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度	
実績／達成度②	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	20	支援企業数(実績)	31	支援実績率	155.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	講義を受けてDX・ITに取り組みたいと回答した割合						
		数値目標	80.0	%	実績数値	96.4	%	目標達成度	120.5%
	その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度	
実績／達成度③	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	15	支援企業数(実績)	33	支援実績率	220.0%	満足率	89.7%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	講義を受けてDX・ITに取り組みたいと回答した割合						
		数値目標	80.0	%	実績数値	96.6	%	目標達成度	120.8%
	その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度	
実績／達成度④	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	20	支援企業数(実績)	41	支援実績率	205.0%	満足率	94.1%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	講義を受けてDX・ITに取り組みたいと回答した割合						
		数値目標	80.0	%	実績数値	90.9	%	目標達成度	113.6%
	その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度	
実績／達成度⑤	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	20	支援企業数(実績)	20	支援実績率	100.0%	満足率	94.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	講義を受けてDX・ITに取り組みたいと回答した割合						
		数値目標	80.0	%	実績数値	94.1	%	目標達成度	117.6%
	その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度	

事業名		ものづくり優良企業賞応募企業の発掘・支援事業			事業番号	16	新規/継続	新規	
想定する実施期間		2025年度～	年度まで	1	年目	※複数年段階的実施事業は別紙にて計画を提出すること			
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) 企業ニーズ (内容・把握方法等)	東大阪市内のものづくり企業は、優れた技術の保有・優れた製品の生産を行っているにもかかわらず、それらを有効活用するノウハウを持ち合わせていない企業が多い。そこで、東大阪市内のものづくり企業がもつそれらの経営課題に対し、大阪の産業の活性化と地域社会に貢献する「大阪ものづくり優良企業賞」受賞に向けた個別支援を実施する。併せて「大阪ものづくり優良企業賞」を既に受賞している企業に対して、フォローアップの一環でマッチングの機会を設け、重点的に販路開拓支援を行うと共に、優れた技術力や品質管理能力等を持ち、市場での高い評価が期待できる優秀なものづくり企業の発掘にも繋げる。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	主に中小企業・小規模事業者 (但し、「ものづくり優良企業賞」の申請については、大阪府内に本社を有する中小企業者で、業種が製造業または組込ソフトウェア業として、工業製品の設計、製造技術に関連する事業を営む会社または個人(創業または事業開始から3年以上経過した事業者)に限る)							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	事業①：経営課題解決セミナー＋商談プレゼン 開催日：2025年11月5日 場 所：マイドームおおさか 8階 内 容：1)大阪ものづくり優良企業賞(匠企業)の概要説明 2)経営課題解決セミナー 3)東大阪の匠企業5社（I・T・O㈱、㈱小西金型工学、大和歯車製作㈱、 ㈱富士製作所、㈱山善金型）による商談プレゼン 講 師：1)大阪府商工労働部中小企業支援室ものづくり支援課 販路開拓支援グループ 担当者 2)エースコンサルティング 代表者 参加者数：55名(46社) 事業②：匠企業との商談会 開催日：2025年11月5日 場 所：マイドームおおさか 8階 出展企業：39社 参加企業：44社 商談件数：127件							
	<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>								
	①府施策連携	ものづくり支援課 販路開拓支援グループおよびMOBIOと連携して広報、運営を行った。							
	②広域連携								
	③市町村連携	東大阪市の後援協力をとり、市の広報誌、メルマガ等を利用して周知活動を行った。							
④相談相乗	セミナー終了後に、ものづくり優良企業賞に応募を検討している参加企業を個別に支援した。								
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	50	総支援企業数(実績)	85.5	支援実績率	171.0%	満足率	94.1%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	代表指標	名刺交換（商談）件数						
		数値目標	40	件	実績数値	127	件	目標達成度	317.5%
	成果の代表事例	A社 面白い出会いが多く、次につながるきっかけとなった。 B社 様々な情報交換ができる為、今後の営業活動に活かしたい							
	その他目標値の実績	目標値（計画）				目標値（実績）			目標達成度
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	事前予約制の商談会形式のため、参加者数が伸びなかった点が課題である。来年度以降については、交流会形式へ移行し、少しでも興味をもっていただいた企業に足を運んでいただけるような運営方法へ変更していきたい。そうすることで、参加企業数の増加と商談件数・商談成立件数の拡大を目指す。							

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	20	支援企業数(実績)	46.5	支援実績率	232.5%	満足率	95.5%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	「経営力が向上し、学んだノウハウを自社で活かせる」と回答した企業の割合						
		数値目標	80.0	%	実績数値	73.0	%	目標達成度	91.3%
	その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度	
実績／達成度②	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	30	支援企業数(実績)	39	支援実績率	130.0%	満足率	92.3%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	名刺交換（商談）件数						
		数値目標	40	件	実績数値	127	件	目標達成度	317.5%
	その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度	

事業名		雇用・労働啓発セミナー事業			事業番号		17	新規/継続	新規	
想定する実施期間		2025	年度～	年度まで	1	年目	※複数年段階的実施事業は別紙にて計画を提出すること			
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) 企業ニーズ (内容・把握方法等)	大阪府商工労働部の令和6年度「大阪府労働関係調査」によると、企業が優先的に取り組みたい分野として「人材確保・定着」が43.0%と最も高くなっている。これは、コロナ禍以降、人手不足感が高まっており、事業者も雇用維持や採用に積極的な動きが顕著であることから喫緊の課題として見受けられる。そこで、「人材確保・定着」という企業のニーズに応えるべく、雇用・労働啓発に関するセミナーを行うことで、事業者・従業員ともに安心して働ける職場環境づくりを図っていく。								
	支援する対象 (業種・事業所数等)	東大阪市内の中小企業全業種の事業所24,408社 ※2021年経済センサス活動調査結果より								
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	開催日：2025年11月13日 場 所：東大阪商工会議所 テーマ：労働法セミナー 内 容：第1部「最新の労働関係の改正と働き方改革への対応」 講 師：社会保険労務士法人企業労務センター 代表社員・特定社会保険労務士 第2部「大阪府施策紹介」 講 師：大阪府商工労働部雇用推進室労働環境課 労働環境推進グループ 担当者 参加者：14社17名（対象企業14社17名）								
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>								
		①府施策連携	府施策連携：労働関係No.2 雇用・労働啓発セミナー事業 労働環境課と連携し、中河内労働ネットワーク事業として実施した。							
		②広域連携								
③市町村連携										
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	20	総支援企業数(実績)	14	支援実績率	70.0%	満足率	100.0%	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	代表指標	働き方改革への取り組み意欲が向上した事業所の割合							
		数値目標	80	%	実績数値	92.9	%	目標達成度	116.1%	
	成果の代表事例	参加者アンケートから自社でも働き方改革に取り組みたいと感じたかという質問に「そう思う」「ややそう思う」が10割であった。また、参加者の中には、「色々な事例を興味深く聞くことが出来た」といった好評を聞くことができた。								
	その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度		
実施結果	課題及び次期以降への取り組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	参加者は想定の20名を下回ることとなったが、100%の事業所が全体を通して満足とのアンケート回答を得られた。								

事業名		脱炭素経営に向けた取組み支援事業			事業番号		18	新規/継続	継続																																										
想定する実施期間		2024	年度～	年度まで	2	年目	※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること																																												
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) 企業ニーズ (内容・把握方法等)	2050年のカーボンニュートラル、脱炭素社会の実現に向け、大企業の間ではサプライチェーン全体でのCO2排出量削減を目指し、中小企業も待ったなしの状況である。本所が2023年に実施した調査（市域製造業の脱炭素化に向けた意識・取組みに関する調査）では現在45%の事業所が脱炭素化に取り組んでいないと回答があり、脱炭素経営に対する意識は低い状況にある。そこで、既に脱炭素経営に取り組んでいる中小企業の事例を紹介するなど脱炭素経営の必要性和そのメリットなどについてのセミナー開催し市域中小企業の脱炭素経営を促進する。 脱炭素経営は、コロナ禍以後の世界的な潮流の中で生き残りをかける中小企業にとっては高い関心事であったものが、近年の材料費の高騰、円安などの経済環境の変化から脱炭素経営への取組みは遅れている。しかしながら、脱炭素経営については既に待ったなしの状況にあることから潜在的なニーズは高いと考えられる。																																																	
	支援する対象 (業種・事業所数等)	府内全業種の事業所 384,332社 ※令和3年経済センサス-活動調査結果より																																																	
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	日 時 2026年3月4日 場 所 東大阪商工会議所 本所本館 4階大会議室 テーマ 環境対策セミナー：来年度の補助金情報を先取り！ 大阪府「脱炭素経営宣言」を知る・活かすための入門セミナー 内 容 1. 「脱炭素経営宣言」「大阪府気候変動対策の推進に関する条例」について 講師：大阪府 環境農林水産部 脱炭素・エネルギー政策課 気候変動緩和・適応策推進グループ 担当者 2. 大阪府 脱炭素経営に関する支援施策のご紹介 講師：大阪府 環境農林水産部 脱炭素・エネルギー政策課 スマートエネルギーグループ 担当者 3. 「中小企業版SBT」取得の重要性・CO2排出量“見える化”ツールのご紹介 ～脱炭素ソリューションツールも併せてご紹介～ 講師：OSAKAゼロカーボン・スマートシティ・ファウンデーション 事業戦略部 ディレクター CO2見える化プロジェクト リーダー 参加者：26社32名（対象企業21社25名） ＜事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載＞ <table><tr><td>①府施策連携</td><td colspan="9">・セミナーの内容については事業企画の段階から、大阪府 経営支援課環と連携し実施した。 ・セミナー参加企業へのアンケートを通じて、脱炭素経営への取組み状況を把握するとともに、セミナー内容にて、大阪府支援施策情報を参加者へ提供した。</td></tr><tr><td>②広域連携</td><td colspan="9"></td></tr><tr><td>③市町村連携</td><td colspan="9"></td></tr><tr><td>④相談相乗</td><td colspan="9"></td></tr></table>										①府施策連携	・セミナーの内容については事業企画の段階から、大阪府 経営支援課環と連携し実施した。 ・セミナー参加企業へのアンケートを通じて、脱炭素経営への取組み状況を把握するとともに、セミナー内容にて、大阪府支援施策情報を参加者へ提供した。									②広域連携										③市町村連携										④相談相乗									
	①府施策連携	・セミナーの内容については事業企画の段階から、大阪府 経営支援課環と連携し実施した。 ・セミナー参加企業へのアンケートを通じて、脱炭素経営への取組み状況を把握するとともに、セミナー内容にて、大阪府支援施策情報を参加者へ提供した。																																																	
	②広域連携																																																		
	③市町村連携																																																		
	④相談相乗																																																		
	①府施策連携	・セミナーの内容については事業企画の段階から、大阪府 経営支援課環と連携し実施した。 ・セミナー参加企業へのアンケートを通じて、脱炭素経営への取組み状況を把握するとともに、セミナー内容にて、大阪府支援施策情報を参加者へ提供した。																																																	
	②広域連携																																																		
	③市町村連携																																																		
	④相談相乗																																																		
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	50	総支援企業数(実績)	22	支援実績率	44.0%	満足率	100.0%																																										
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	代表指標	今後、脱炭素経営への取組みに繋げる企業の割合																																																
		数値目標	70.0	%	実績数値	100.0	%	目標達成度	142.9%																																										
	成果の代表事例	参加者より、大阪府の来年度補助金の活用を検討したいとの声があったほか、併せて紹介した大阪府の支援施策の1つである「省エネ診断」についても関心があるとの声を頂き、大阪府の脱炭素支援に関する情報を提供できた。																																																	
	その他目標値の実績	目標値（計画）				目標値（実績）			目標達成度																																										
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	参加企業数は未達の結果となったが、セミナー参加企業の満足度や、脱炭素の取組みへの関心については一定の評価結果があり、参加者へは補助金や国際認証についてなど脱炭素への取組み方について理解を深めていただいた。一方、参加者増加に向け、よりニーズを調査するとともに、広報周知など強化を図っていく。																																																	

事業名		工業振興事業			事業番号		19	新規/継続	継続
想定する実施期間		2025年度～	年度まで		1	年目	※複数年段階的実施事業は別紙にて計画を提出すること		
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) 企業ニーズ (内容・把握方法等)	中小企業・小規模事業者が直面する経営課題の解決や経営力向上に資する講演会や視察会を開催する。アフターコロナ以降経営環境が刻々と変化するなか、環境変化に柔軟に対応する経営者の経営戦略や理念等、社内で取組んでいる事例を取り上げ、参加企業の事業改善に寄与する。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	東大阪市内の中小企業・小規模事業者等							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	事業①：啓発セミナー【人材育成型】 〈開催日〉2025年7月2日(水) 14時～16時 〈場 所〉東大阪商工会議所 本所4階大会議室 〈内 容〉倒産寸前だった龍角散を救った経営革新 (株)龍角散 代表取締役社長 〈参加者〉54社57名(対象企業51社54名) 事業②：事例研究会【人材育成型】 〈開催日〉2025年7月9日(水) 14時～16時 〈場 所〉東大阪商工会議所 本所4階大会議室 〈内 容〉「躍進的な事業をめざして～わが社の補助金活用成功事例～」 コーディネータ：公的資金導入支援事務所ヒガサカナビ 代表 パネリスト：中辻金型工業(株)、大徳木管工業(株) 〈参加者〉22社23名(対象企業20社21名)							
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携							
		②広域連携							
		③市町村連携	市より事業実施に係る補助金の交付を受けた。						
④相談相乗									
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	80	総支援企業数(実績)	73.0	支援実績率	91.3%	満足率	95.8%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	代表指標	課題を持つ参加者がアンケートにて啓発セミナー及び事例研究会で学んだ内容に役立った(満足した)と回答した割合。						
		数値目標	80.0	%	実績数値	95.8	%	目標達成度	119.8%
	成果の代表事例	セミナーでは、オーナー経営者の実体験による事例を聞き「斬新性をもってやりきることの重要性を学んだ」との声を頂いた。また、講演後に参加者との名刺交換ができ良かったとの声を頂いた。事例研究会では、補助金成功事例の紹介と併せて今年度の補助金制度紹介を行ったことで、参加者より「補助金制度だけでなく採択企業の事例も学べイメージしやすかった」との声を頂いた。							
	その他目標値の実績	目標値(計画)			目標値(実績)			目標達成度	
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	【啓発セミナー】 参加企業数、満足率ともに目標を達成した。近年、経営者の多くは、物価高騰等の喫緊の課題に直面していることから、直近の経営課題に役立つ内容を企画していく。 【事例研究会】 参加者からの満足度は100%と高かった一方で、参加企業数は目標未達となったことから、今後は参加数を増やすべくニーズの高い内容を企画する必要がある。							

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	50	支援企業数(実績)	52.5	支援実績率	105.0%	満足率	94.1%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	支援企業数を達成し、満足度についても一定の評価を得られた。 指標：自社の課題に対し参考になったと回答した企業割合						
		数値目標	80.0	%	実績数値	94	%	目標達成度	117.6%
	その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度	
実績／達成度②	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	30	支援企業数(実績)	20.5	支援実績率	68.3%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	支援企業数は目標に達していない一方で、満足率については、参加者より一定の評価を得られた。 指標：自社の課題に対し参考になったと回答した企業割合						
		数値目標	80.0	%	実績数値	100.0	%	目標達成度	125.0%
	その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度	

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	20	支援企業数(実績)	17	支援実績率	85.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	事業承継に向けた啓発と準備について参考になったとの参加事業所より回答があった。 指標：事業承継に向け意欲が向上した事業所の割合						
		数値目標	70.0	%	実績数値	100.0	%	目標達成度	142.9%
	その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度	
実績／達成度②	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	20	支援企業数(実績)	19.5	支援実績率	97.5%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	事業承継に向けた啓発と準備について参考になったとの参加事業所より回答があった。 指標：事業承継に向け意欲が向上した事業所の割合						
		数値目標	70.0	%	実績数値	86.0	%	目標達成度	122.9%
	その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度	

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	30	支援企業数(実績)	26.5	支援実績率	88.3%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	セミナー受講による理解度						
		数値目標	70.0	%	実績数値	100.0	%	目標達成度	142.9%
	その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度	
実績／達成度②	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	107	支援企業数(実績)	91	支援実績率	85.0%	満足率	95.6%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	売込事業所が新規取引先拡大を目指し、バイヤー事業所と商談した合計件数						
		数値目標	380	件	実績数値	319	件	目標達成度	83.9%
	その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度	